

〒240-8501 横浜市保土ケ谷区常盤台 79-1

### YNU研究イノベーション・シンポジウム 2018

ヘルスケアのために大学と地域が連携する Society 5.0 実現に向けた 横浜国立大学の"もう一つの提言"

横浜国立大学は昨年度のシンポジウムにおいて、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」、Society 5.0 という未来ビジョンを実現する方策として、「"企業のモノ"をサービスに換える」 というシナリオを提示しました。

ICT (情報通信&コミュニケーション)、人工知能、ロボットを中核に、実世界とサイバー空間をつなぐ「CPS (サイバーフィジカルシステムズ)」を実現することで、あらゆる"モノ"がサービス化され、新たな産業が生まれてくるシナリオです。

では、その後の動きはどうなっているでしょうか。モビリティの分野では、車と車を CPS で一つにつなげることで、自動運転やカーシェアに加え、情報通信や保険などの他 分野の新たなサービスまで検討されるようになってきました。エネルギー、ヘルスケア、さらには大規模インフラの分野でも同様な動きが拡がっています。

そこで、こうした変化に対応すべく、今年度のシンポジウムでは、さらに一歩踏み込んだ提言を行うことといたしました。Society 5.0 を実現する分野として「ヘルスケア」、そのための仕組みとして「大学と地域の連携」 に着目し、神奈川に Society 5.0 を構築していく方策を検討します。

シンポジウムでは、最初にヘルスケアを巡る地域の動向を示し、"本学の強み"であるロボット、ものづくり、イノベーションなどの研究とヘルスケアとの関わりを説明します。その上で、これらの特徴を活かし、ヘルスケアのために大学と地域が本気で連携していく仕組みや方法を議論します。

#### ■開催概要

【日 時】 2018年11月27日(火) 13:00~17:00 (12:00開場)

【会 場】 はまぎんホール ヴィアマーレ (横浜市西区みなとみらい3-1-1)

【参加費】 無料

【定 員】 300 名 (事前申込制·先着順)

【主催】 国立大学法人横浜国立大学

【後援】 神奈川県、横浜市経済局、川崎市

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

株式会社横浜銀行

別添フライヤーをご参照の上、是非ともご取材等よろしくお願いいたします。 ご取材の場合は、事前にご連絡いただけますと幸いです。

#### 本件に関するお問い合わせ先:

横浜国立大学 研究・学術情報部 産学・地域連携課長 水谷 美由紀

E-mail: sangaku.sangaku@ynu.ac.jp

シンポジウム WEB サイト: http://www.ripo.ynu.ac.jp/yris/2018/



私達、横浜国立大学は昨年度のシンポジウムにおいて、人々に豊かさをもたらす超スマート社会、Society 5.0 という未来ビジョンを実現する 方策として、「"企業のモノ"をサービスに換える」というシナリオを提示しました。

ICT(情報通信&コミュニケーション)、人工知能、ロボットを中核に、実世界とサイバー空間をつなぐ「CPS(サイバーフィジカルシステムズ)」を実現することで、あらゆる"モノ"がサービス化され、新たな産業が生まれてくるシナリオです。

では、その後の動きはどうなっているでしょうか。モビリティの分野では、車と車を CPS で一つにつなげることで、自動運転やカーシェアに加え、情報通信や保険などの他分野の新たなサービスまで検討されるようになってきました。エネルギー、ヘルスケア、さらには大規模インフラの分野でも同様な動きが拡がっています。

そこで、こうした変化に対応すべく、今年度のシンポジウムでは、さらに一歩踏み込んだ提言を行うことといたしました。Society 5.0 を実現する分野として「ヘルスケア」、そのための仕組みとして「大学と地域の連携」に着目し、神奈川に Society 5.0 を構築していく方策を検討します。シンポジウムでは、最初にヘルスケアを巡る地域の動向を示し、"本学の強み"であるロボット、ものづくり、イノベーションなどの研究とヘルスケアとの関わりを説明します。その上で、これらの特徴を活かし、ヘルスケアのために大学と地域が本気で連携していく仕組みや方法を議論します。

# 2018年11月27日(火)

13:00~17:00(12:00 開場)

定 員:300名(先着順)

参加書:無料 [情報交換会 2,000 円 (当日徴収)]

[主 催] 国立大学法人横浜国立大学

[後 援] 神奈川県、横浜市経済局、

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、

株式会社横浜銀行







#### YNU 研究イノベーション・シンポジウム 2018

## ヘルスケアのために大学と地域が連携する

Society 5.0 実現に向けた横浜国立大学の"もう一つの提言"

【日 時】平成30年11月27日(火)13:00-17:00【会 場】はまぎんホール ヴィアマーレ

#### プログラム

13:00-13:10 開会挨拶

横浜国立大学 学長 長谷部 勇

第一部 地域と本気で連携するための "横浜国立大学の戦略

地域連携ビジョン 13:10 - 13:30

横浜国立大学 研究推進機構 産学官連携推進部門 部門長・教授 金子 直哉

第二部 ヘルスケア、地域、そして "横浜国立大学の強み"

13:30-14:00 「地域」とヘルスケア

「神奈川県の30年の科学技術政策から考察する 地域イノベーション・エコシステム」

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室 牧野 義之 最先端医療産業グループリーダー

神奈川県地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 副事業プロデューサー

「ロボット」とヘルスケア 14:00 - 14:30

> 下野 誠通 横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授

14:30-15:00 「ものづくり」とヘルスケア

横浜国立大学 大学院工学研究院 教授 丸尾 昭二 YNU ものづくりライフイノベーション研究拠点 拠点長

15:00-15:30 「イノベーション とヘルスケア

「境界を越えること:経営学研究が示す イノベーション実現のエッセンス」

> 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授 大沼 雅也

第三部 "本気の地域連携"を構築していくための具体策

15:50-16:50 パネルディスカッション

パネリスト:神奈川県、横浜銀行、横浜国立大学 他

モデレーター: 金子 直哉

16:50 - 17:00 閉会挨拶

横浜国立大学 理事 (研究・評価担当)・副学長 森下 信

17:30 -情報交換会



牧野 義之

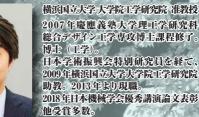
神奈川県政策局 ヘルスケア・ニュー フロンティア推進本部室 最先端医療産業グループリーダー 神奈川県地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 副事業プロデューサー

1994年横浜国立大学教育学部卒業 同年、神奈川県入庁

旧科学技術庁地域科学技術振興室出向 等を経て、神奈川県の科学技術政策等 に従事。2015年より現職で、異分野 融合研究の立案・推進や産学公連携 プロジェクトを担当。



下野 誠通



横浜国立大学 大学院工学研究院 教授 YNU ものづくりライフイノベーション 研究拠点 拠点長

1997年大阪大学正学研究科応用物理学 専攻修了。博士(正学)。 名古屋大学大学院工学研究科助手を 経て、2003年より横浜国立大学大学院

工学研究院助教授、2014年より現職。 2006年~2010年科学技術振興機構 きがけ個人研究者。

Best-Paper Award for Analytical Sciences 2017 等、他受賞多数。



丸尾 昭二

太沼 雅也

横浜国立大学 大学院国際社会科学 研究院 准教授

2011年一橋大学大学院商学研究科 博士課程単位取得退学。博士(商学)。 成蹊大学を経て、2014年より現職。 代表的な業績に「ユーザーイノベー ション研究の新たな展開」日本経営 学会誌 , 34, pp.26-36, 2012 等がある。 医療デバイスの革新を経営学的視点 から研究している。

無料 [情報交換会 2,000円(当日徴収)] [参加費]

[定 員] 300名(先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。)

[申込方法] ホームページよりお申し込みください。

URL: http://www.ripo.ynu.ac.jp/yris/2018/

[申込締切] 平成30年11月16日(金)

[お問い合わせ]

国立大学法人 横浜国立大学

研究推進機構 産学官連携推進部門

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ケ谷区常盤台 79-5

TEL: 045-339-4447